

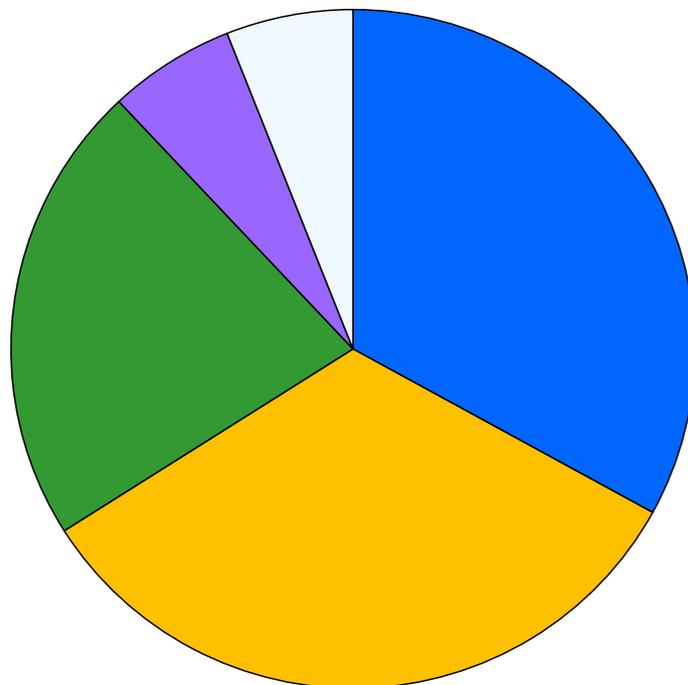
プログラム名 野菜を伝える、野菜で伝える ～田畑は人も育つ場所～ 第7回
デジタルTERA小屋 設楽哲也さん

単元名 RA

アンケートタイトル 野菜を伝える、野菜で伝える ～田畑は人も育つ場所～ 第7回
デジタルTERA小屋 設楽哲也さん

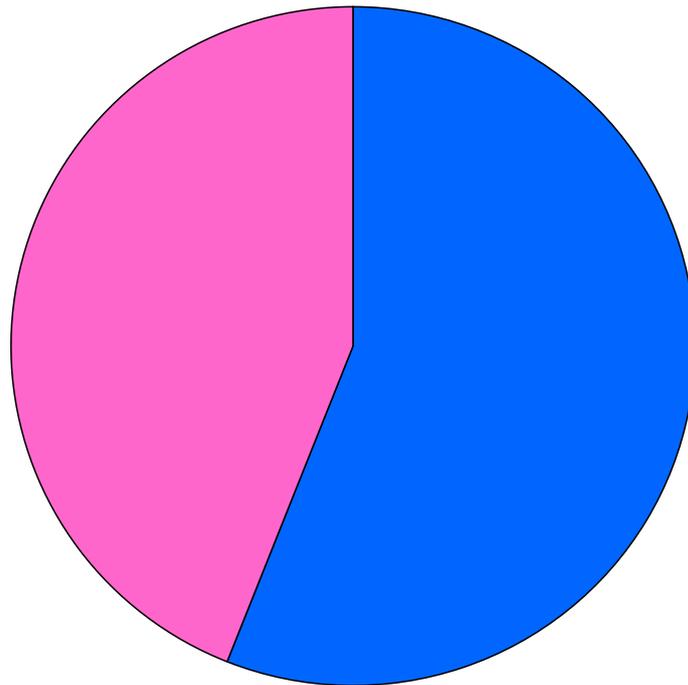
質問1 本プログラムを同僚や友人など身近な人におすすめしたいと思いますか。1
1段階でお答えください（10=必ず勧める ～ 0=勧めない）（択一式）

No	解答	人数	%
1	10=必ず勧める	6	33%
2	9	0	0%
3	8	6	33%
4	7	4	22%
5	6	1	6%
6	5=どちらでもない	1	6%
7	4	0	0%
8	3	0	0%
9	2	0	0%
10	1	0	0%
11	0=勧めない	0	0%
合計		18	



質問2 本プログラムにご参加いただき、皆さまの生き方や働き方の参考になりましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	大変参考になった	10	56%
2	参考になった	8	44%
3	どちらでもない	0	0%
4	あまり参考にならなかった	0	0%
5	参考にならなかった	0	0%
合計		18	



質問3 本プログラムを通して、気付いたこと、これからご自身で実践したいと思ったことはありますか。
小さなことでも構いませんので、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

・設楽さんが何事にもしっかりと真摯に向き合う姿とそこにかけるまっすぐな思いが伝わりました！

・エピソードが5個中2個しかお話を聞けなかったので、きゅうりパンの話を知りたかったですね。

虫が苦手な私には絶対になれない職業ですが、やりがいのあるお仕事だと思いました。

・4問めで、ボタンが反応せず、触っていたら、4番の回答になってしまいました。2番でした。訂正ができませんでした。最初は、農業の何もわからなく、野菜も好き嫌いが多く私ですが、少しずつ食べるようにしたいと思います。

・曲がったキュウリと親の関係のお話は大変参考になりました。

・設楽さんがサラリーマン時代に一緒に仕事をしたことがあります、とても立派になられたと思います。

・周囲を巻き込んで実践する拡がりを感じました。今後の事業展開にも活用させていただきたいと思います。

・仕事は点の集まり。自分の点だけを見るのではなく、周りの点も把握すべき、と言うのがなるほどと思いました。商売としては無理ですが、農作業には興味があります。

・設楽さんのような積極的にアピールできる方がもっと増えればよい、自分もそうなればと思いました。設楽さんのご発言の中に、「どんな状況（天候）になってもおいしい野菜を作りたいと思います」的なご発言になみなみならぬ覚悟を感じました。やっぱり人が、自分を楽しみながら一生を楽しく生きていくためにはそれぞれの覚悟が必要なのだと思いました。

・自分も少しながら家庭菜園で野菜を育てていますが、今回のお話を聞いて、より野菜のことを知って、育てていきたいと思いました。

・農家＝生産者だけの枠組みに収まらない、みんなが笑顔になるデザインや仕組みづくりが輝きを放っていた。食育、キャリア教育を通じて、生産者と消費者のダイレクトな反応がなければモチベーションは続かない。同時に、野菜の市場の価値を維持するには、ある程度の規模で、AIなども駆使することも必要。だけど全てがそうでなくても構わない。一口に「農業」といっても多種多様で、何に趣を置くかで見えてくる世界が変わってくる。

農家さんのすべてが、設楽さんのようにになれるわけではない。

だとしたら、人と人を繋ぐ、全体をコーディネートできる人が必要。農家であることのやりがいや楽しさが伝わって、若い人が就農したくなる仕組みづくりは大事。

・観る、育てる」を大切に。これは農業だけではなく、人として生きる上で大切にしなければいけないことだと思いました。（障害を持つ子の親が自分の姿に気づくことができたのは設楽さんの生き様と言葉の力だと思いました。）

・教育現場にいますが、人を育てるということの新しい気づきがありました。栄養を与え過ぎることではなく、個々に成長を促し支える視点を大事にしたいと思いました。

・野菜やお米を育む設楽さんの取り組みに感動しました。普段何も考えずに食べている自分を振り返り反省しました。より多くの子供たちに伝えたい貴重なお話しでした。ありがとうございます。

・設楽さんの作る野菜は丹精込めて作るが、他の農家との差別化って実際はかなり難しいのではないかと思っていて、情報発信力（食育イベントや様々な店とのコラボ）が他の農家との大きな違い「設楽ブランド」を確立して差別化されているのだと感じた。設楽農園は2.5人で稼働しているとおっしゃっていたので、コメや野菜を育てるだけでも手が足りないくらいなのに、いろんなイベントを仕掛けていて休む暇がないんだろうなと想像できる。でもそれを楽しんでやっているように見えるのが続けられる秘訣なのだと思う。自分の野菜をたくさんの人に食べてもらいたい、さらに野菜自体のファンを増やして野菜全体の消費が増え農業という職業が「憧れの仕事」になればという大きな目標まで持たれているのがいいなと感じました。「良い天気」の話をされていましたが、私も今、田んぼやっていますので共感するところが多かったです。代掻き前に水が欲しくても雨が降らないので、水量の少ない川を上流でせき止めてそこからポンプで汲み上げる。ようやく田植えまで終わったら今度は逆に大雨で植えた苗が水没するしてしまう・・・なんてこともありました。人間の力ではどうにもならず、自然に依存にすることも多くなってしまっているので神社で神頼み、春・秋祭りで収穫を感謝したりするのは昔から変わらないのだろう。その他では、物事を行うときに「全体を俯瞰する視野」と「ピンポイントの仕事を行う力」両方が必要で「何のためにやってるのか」見失わないことが大事というようなことを話されていましたが、農業に限らず全ての仕事に共通する重要な視点だと思いました。個人的には非常にためになるお話を聞いて良かったです。我が家の庭で作るキュウリの形が悪いのは、育てる環境が悪く、ストレスがかかっているからだとのこと。いい野菜、いいコメを育てるには、育つ環境を整える必要があるのだと・・・確かに放置、よく言えば自然栽培です。

質問4 全体を通してのご感想やご意見、今後の開催に向けてのご要望等ございましたら、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

・設楽さんにはお世話になっていますが、改めて話をしっかり伺う機会を設けていただいて感謝です。設楽さんの話また聞きたいです！！

・DPPの選択肢の5択制限がそろそろ苦しいように感じる。選択肢を5択以上にする改修をしてはどうか。

・話し方が上手で、設楽さんの思いが伝わってきました。次回以降も参加したいと思います。

・農業のもう一つの魅力は整然と栽培されているお米や野菜の風景です。設楽さんの農作物の栽培風景を見ていると整然とまっすぐ栽培されており、美しい風景になっています。ヨーロッパは農業国が多く、どこも素晴らしい風景で、それが観光資産になっています。その風景を見て癒される方はたくさんおられます。

・本日はありがとございました。とても熱い思いが伝わりました。きゅうりフルコース食べてみたいです。

・実践内容が具体的にお伺い出来て、大変参考になりました。貴重な時間をありがとうございます。

・設問2が選択肢がありませんでした。

・各分野のエキスパートにお話しをうかがうのはとても楽しいですし、刺激になります。

・設楽さんのような考え方で農業を営んでいけば、日本の農業も明るいのではないかと思います。そこで、より多くの農家の人にこの番組を視聴していただくことを望んでいます。

・設楽さんのお話と共に進行も円滑で、短時間ながらも中身の濃い話が聞くことができました。話題を5つも準備して、視聴者の関心が高い二つを選んで話をしてくれたのも良かったです。（準備は大変だったでしょうが）

リアルで設楽さんと再会できたのも嬉しかったです。ありがとうございました。

・デジタルTERA小屋、設楽さんはじめ毎回素晴らしいエキスパートの考えと行動を聴かせていただき、大いに啓発されます。今までの自分の浅はかな行動を大いに反省しています。